

教科名	科目名	単位数	授業形態	系統	履修年次
芸術	書道Ⅲ	2	選択	文系	3

教科書（発行所）	書Ⅲ（教育図書）
教科書以外の教材	

目 標	<p>1 書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、創造的に表現するための技能を身に付けるようにする。</p> <p>2 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に深く構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。</p> <p>3 主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、書の伝統と文化を尊重し、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>
-----	---

	学期	学習事項	学習内容	考查等
学習計画	1 学期	<p>書と文化 世界の文字と書 書は人なり</p> <p>漢字の書の美 古典に学ぶ</p> <p>生活の中の書 実用書・硬筆 書を生かす</p>	<p>世界の文字と漢字の歴史を比較し、書の歴史や文化の理解を深めるとともに、これからの書の在り方を考える。また、歴史上の偉人や他分野で活躍する人物などの書を鑑賞し、人物像や作者の心情・表現の工夫等を考察する。</p> <p>石や木材などに書かれた古典を原寸で再現し、漢字の起源や書体の変遷について理解を深める。 甲骨文 小臣觶饗尊 散氏盤 古代の文字を生かし、創作する。</p> <p>硬筆展の課題に取り組む。履歴書や冠婚葬祭に関する実用的な文字の書き方を学び、ブックカバーやコースター・本の葉などを制作する。 自らの意図に即して用具・用材を工夫し、生活の中に書を取り入れる楽しさを学ぶ。</p>	<p>作品</p> <p>作品</p> <p>作品</p> <p>ファイル提出</p>
	2 学期	<p>漢字の書の学習 隷書の古典に学ぶ</p> <p>草書・行書の古典に学ぶ</p> <p>創作</p>	<p>濃墨や淡墨など墨色による印象の違いを理解し、古典の雰囲気や即した表現を工夫する。 開通褒斜道刻石 礼器碑</p> <p>中国と日本の書を比較し、書風の違いを理解する。 李嶠詩雜詠 白氏詩卷 喪乱帖 黄州寒食詩卷 李太子帖 半紙展に向けての作品制作</p> <p>自分自身の表現を求めて語句を考え、墨色や用具・用材を工夫し、効果的な紙面構成を考えて創作する。 カレンダー制作、年賀状制作</p>	<p>作品</p> <p>作品</p> <p>作品 ファイル提出</p>
	3 学期		<p>創作した作品を、掛け軸などの書の鑑賞に適した状態に表装する。</p>	<p>作品 ファイル提出</p>

授業の受け方・学習に向けてのアドバイス等	<p>1 移動教室のため、時間に余裕を持って行動し、教科書や用具をそろえて席に着きましょう。</p> <p>2 用具は大切に扱い、常に整理整頓を心がけましょう。</p> <p>3 課題に応じて学習成果（作品）を提出しましょう。</p> <p>4 創作（自己表現）力を高める資料を各自で追求しましょう。</p> <p>5 作品の制作過程、鑑賞活動も重視します。いかに興味を持って取り組み、自分なりの工夫をしたかを評価します。</p>
----------------------	---

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
	<p>書の表現の方法や形式、書表現の多様性などについて理解を深めている。</p> <p>書の伝統に基づき、作品を創造的に表現するための技能を身に付け、表している。</p>	<p>書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に深く構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい深く捉えたりしている。</p>	<p>主体的に書の表現や鑑賞の創造的な活動に取り組もうとしている。</p>
評価の方法	<p>定期考査は行わず、次の4点をふまえて総合的に評価します。</p> <p>1 出席・学習活動への参加状況（主体的に学習に参加し、粘り強く取り組んでいるか。）</p> <p>2 作品（書体や書風の特徴を捉えて表現出来ているか。用具・用材や字形、構成などを工夫し、意図に基づいた表現が出来ているか。）</p> <p>3 プリント（自身の考えや気づきが書かれているか。制作過程や改善点、自己評価など学びの過程が分かる内容となっているか。）</p> <p>4 その他（道具を大切に扱っているか。教室や棚の整理整頓が出来ているか。）</p>		